



令和8年1月定例記者会見

令和8年1月7日（水）午前11時00分～

<主な発表項目>

・こどもおーるオープンについて

本日、1月7日にイオンモールとなみ内の1階に、「砺波市こども子育て交流館 こどもおーる」をオープンした。

こういう施設を待っていたと何人かの保護者の方にも話しかけられ、本当に子どもたちも楽しそうにしていた。子育て世代などから多くのご要望があった「子どもの屋内の遊び場」として、児童館と子育て支援センターなどの機能を複合化した新たな施設をご利用いただきたい。

・除雪対策について

除雪については、一斉除雪の出動が1回あり、一部山間地域での除雪も実施した。

国や県において設置されている市内の道路監視カメラを市のホームページからも見られるので、外出前に活用していただきたい。

各地区の除雪委員会や除雪業者等と連携を図りながら、地域ぐるみによる除雪作業に取り組み、市民の安全安心な生活の確保に万全を期したい。

○春を呼ぶチューリップ展について

チューリップ四季彩館では、1月29日（木）から2月15日（日）まで、2026となみチューリップフェアのプレイベントである「第40回春を呼ぶチューリップ展」を開催する。

今回は40回の節目であることを記念して、例年よりも2,000本多い12,000本のチューリップと、プリムラなどの早春の花々で一足早い春の気配を演出する。また、となみブランドのチューリップ切花「チューリップ切花販売コーナー」を設置する。

会場内には好評のミニSLが走り子供から大人までご家族でお楽しみいただける。

さらに、城端線・氷見線の再構築に向けた機運醸成のため、新型車両デザインに関する展示も登場する。

今回で9回目となる「インスタ(Instagram)・フォトコンテスト」を行い、入賞者には、チューリップフェア招待券をプレゼントする。

○新年度一般会計予算編成について

新年度一般会計の予算規模については、流動的ではあるが、現在、財政課の査定段階では、昨年度を上回る想定である。

これは、特定の大規模プロジェクトによるものではなく、複数の要因の積み重ねによるものであり、人件費や資材費等物価高騰による工事費や委託料の増加等も影響している。

新庁舎に向けたペーパーレス化の徹底など事務事業のスリム化を図るとともに、既存事業の見直しによる財源確保によって新たな事業を創出する「リボーン推進枠」で事業の「生まれ変わり」を見込むなど、経費が膨らまないよう調整していきたい。

また、歳入については、現状では市税は増額を見込んでおり、通常国会における審議の行方も注視しなければならないが、地方交付税も増加するものと見込んでおり、一定の健全財政は保てると考えている。